

矢沢所長 新任のあいさつ

国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所 所長 矢沢賢一

山下所長の後任として、4月1日付けで着任しました矢沢でございます。

三春ダムは、平成8～9年にかけて調査設計課長として勤務させていただきました。今回で二度目の勤務となりますが、気持ちを新たに業務に取り組みたいと思いますのでよろしくお願いします。

さて、三春ダムは、阿武隈川上流域における安全・安心を支える重要な役目を持つ多目的ダムです。この10年間に、阿武隈川上流流域では、平成10年8月の大洪水をはじめとし、度重なる洪水に見舞われております。その間、約20回に渡り洪水調節を実施する等、被害軽減に寄与したことはもちろんですが、県中地域における水瓶として上水道や灌漑用水等の安定的な補給をする等、地域の安心と安全の確保に確実に貢献して参りました。また、全国第1号としての「地域に開かれたダム」として指



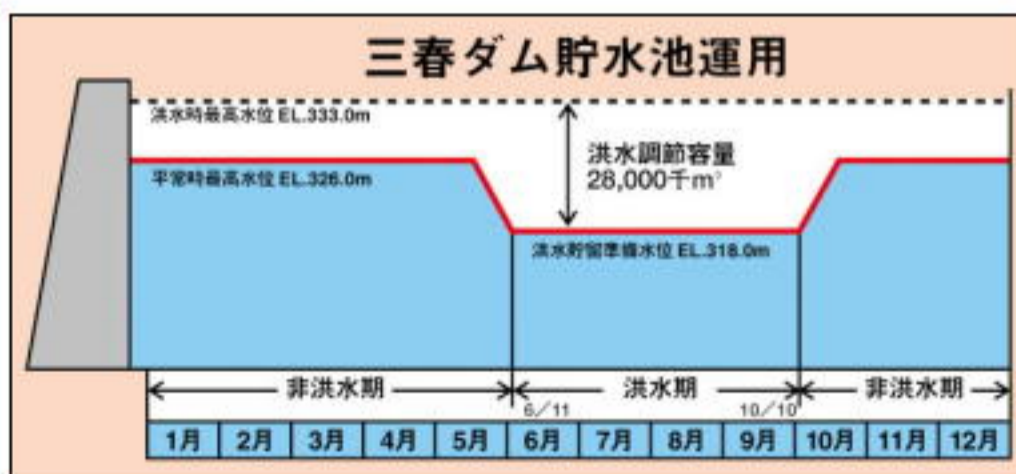
定され、地域の創意工夫を生かし、ダムを地域により一層開放することを目標に管理してきましたが、この10年間には多くの方々がダム湖および周辺を訪れていただき、他のダムには無いにぎわいを感じられるまでになっています。

これらのダムの使命を下支えするため「ダム湖の適正な水質」を確保する目的で整備された水質対策についても十分機能していることが確認されています。

これからは、ダムにより発生した自然環境を見守りつつ、地域との連携を深めながら環境との調和につとめる等、より質の高いダム管理を目指して行きたいと思っております。

三春ダムからの
お願い

洪水期に備え、貯水位を下げます。



洪水期までに水位を下げます。そのため放流量が普段より多くなる場合があります。ダム下流河川の水位が上昇しますので、河川を利用する方はご注意ください。

6月11日から10月10日の期間を、大雨により洪水の発生しやすい時期として「洪水期」と定めております。この期間は洪水調節容量を確保するために貯水池の水位を洪水貯留基準水位まで下げ、大雨による洪水に備えています。

平成18年度 水質検討会 開催

平成19年3月13日、三春ダム管理所において「平成18年度三春ダム水質対策検討会（委員長 日本大学大学院総合科学研究科 野池達也教授）」（以下検討会）が開催されました。

検討会とは、水質対策設備の効果的運用方法、諸問題に対する課題等について有識者を委員に迎え意見・助言を頂き、より良い水環境を目指すことを目的として、年1回以上の開催を継続して行っております。

今年度の検討会は、現地視察は無く1部構成で行われ、まず、昨年度の指摘事項とその対応について、事務局からの報告があり、それについて委員の方から質疑・意見等がありました。

続いて、水質保全施設運用規則（案）に基づく浅層・深層循環施設の運用による効果及び、リフレッシュ放流の効果についての検討と、水位低下操作による貯水池水質改善実証試験評価及び周辺環境への影響評価について、本年度実施した蛇石川前貯水池での実証試験の結果報告を基に、水位低下の効果と周辺環境への影響及び、課題点と今後の対応について検討と、流域の水質・負荷量の経年変化及び流域下水道の整備状況についての3項目の調査報告について事務局から報告がありました。

その調査報告について、多くの委員の方から多種の考え方、目的に対する調査方法の貴重なご意見、来年度における課題等を頂き、今年度の検討会は閉会致しました。

～ 検討会の様子 ～



今年の滝桜とさくらの公園

日本三大桜に数えられる三春町の滝桜が4月11日に開花し、滝桜の開花と共に三春ダム周辺も賑わい始めました。今年は、暖冬の影響で開花が早まるのではないかととの声も多く、三春ダム管理所では3月末には問い合わせの電話が鳴り始め、滝桜の開花を待ち望んでいました。

今年は、4月20日に滝桜の写真を撮りに行ったのですが、何時行っても間近に観る滝桜は、その名の通り滝から水がゴゴンと流れ落ちる中に自分が飲み込まれてしまうような錯覚に陥るほどの迫力と存在感を感じます。写真では差ほど感じないのですが、今年は去年よりピンク色が濃く妖艶さも増して感じられ、今まで観た滝桜の中で一番印象に残った滝桜でした。

もう一つの桜の名所、三春ダム管理所の対岸のダムを見下ろす地に造られたさくらの公園の桜は、1本の枝に咲いている花の数がパラパラと少なく、去年の満開のソメイヨシノが嘘のようでした。さくらの公園の桜だけではなく、各地の桜の木もこのような現象が見られ、原因は暖冬の影響で鳥が花芽を食べてしまったことや遅霜の影響とも言われています。最近、地球温暖化やCO₂削減などよく目や耳にしますが、桜の開花から自然や地球環境を改めて考えさせられた春でした。



滝桜 H19.4.20撮影

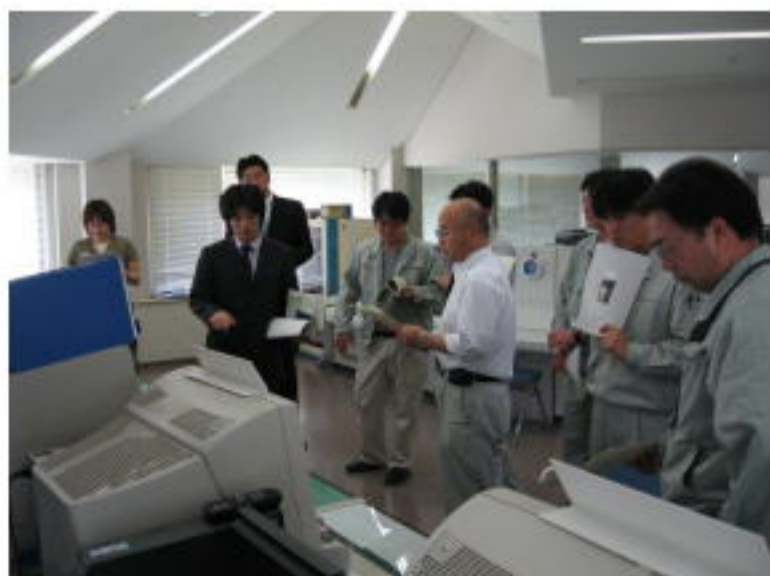


さくらの公園 H19.4.20撮影



さくらの公園 H18.4.28撮影

ダムコン操作確認



三春ダムを的確・迅速に管理していくため、管理所職員全員参加のもとに「ダム管理用制御処理設備」（通称ダムコン）の操作方法等の確認を実施しました。

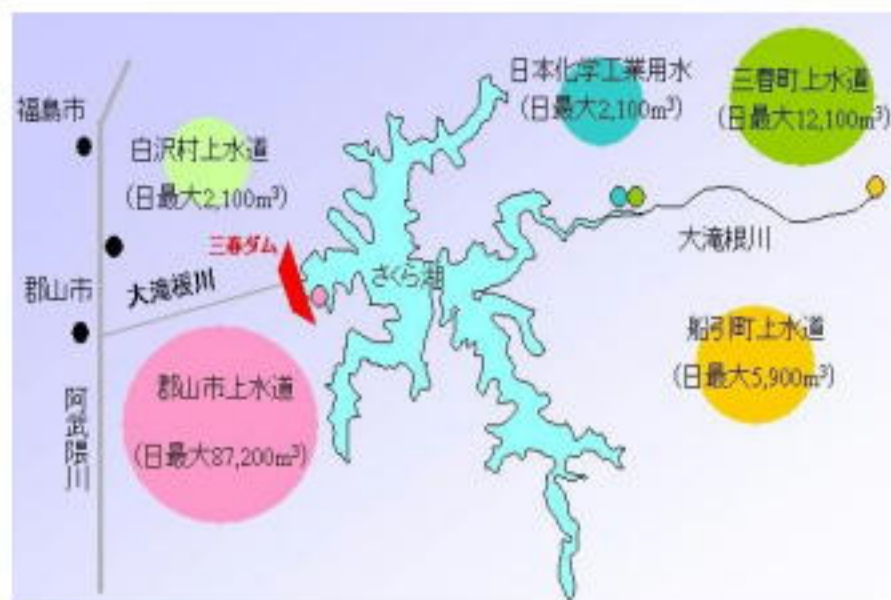
ダムコンとは、ダム管理において必要となる情報（貯水位、流入量、放流量、雨量、設備の情報等）の収集入力、演算、表示・記録、放流設備の操作などの処理を行う設備であり、ダムを的確に管理するために重要な設備です。

今回、ダムコンの操作方法等の確認を実施することにより、管理する心構えについても再確認するよい機会となりました。

ミーちゃん&んじくんの なぜ?なに?さくら湖

Q. 三春ダムの水は生活用水にも使われているの?

A. 三春ダムの水は、田村市(船引町)三春町・郡山市・本宮市(白沢村)の人々の飲み水などの生活用水として利用されています。三春ダムでは、水道用水として周辺地域に1日に最大107,300m³(一人あたり約400ℓ/日約32万人分[郡山市人口相当])を供給しています。このうち郡山市上水道はさくら湖から直接取水し、郡山市



荒井浄水場へ供給しています。また、船引町上水道と三春町上水道はさくら湖上流で取水し、白沢村上水道はさくら湖下流の阿武隈川から取水し生活用水として利用されています。

三春ダム資料館からのお知らせ

手作り時計・手びねり陶芸 二人展 開催

期間: 5月1日(火)~5月31日(木)

資料館1階展示ギャラリーにおいて三春町にお住まいの横塚さんご夫婦による手作りの作品約40点を展示しています。

手作りならではの温かみのある作品の数々をご覧ください。



お近くにお越しの際は、是非足をお運びください。お待ちしております。



三春ダム 建設のあゆみ 写真展

期間: 5月1日(火)~5月31日(木)

資料館2階展示室において三春町にお住まいの渡辺さんが撮り貯めた建設中の三春ダムやさくら湖の冬景色など9点を展示しています。

俳句ポスト 作品紹介

春いよき
光る水面の
風の鳥



閑花した
恋とさくら
散らないで

朝日受け
落りて色増す
椿かな

ぶらり旅
春風薫る
三春ダム

さくら湖に
小波さわぎ
春紋翠



3月の作品です

編集後記

三春ダム周辺もようやく春めいてまいり、「さくら湖」

の季節となりました。

三春ダムの職員も4月の異動により新メンバーを迎え、新たな気持ちで三春ダム(さくら湖)の管理を進めて参ります。今年度もホットなニュースをお届けしたいと思いますのでよろしくお願い致します。(柴田)



編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を
お待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4

TEL0247-62-3145 FAX0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>